

TIAM

TOKYO IMAGE ART MUSEUM

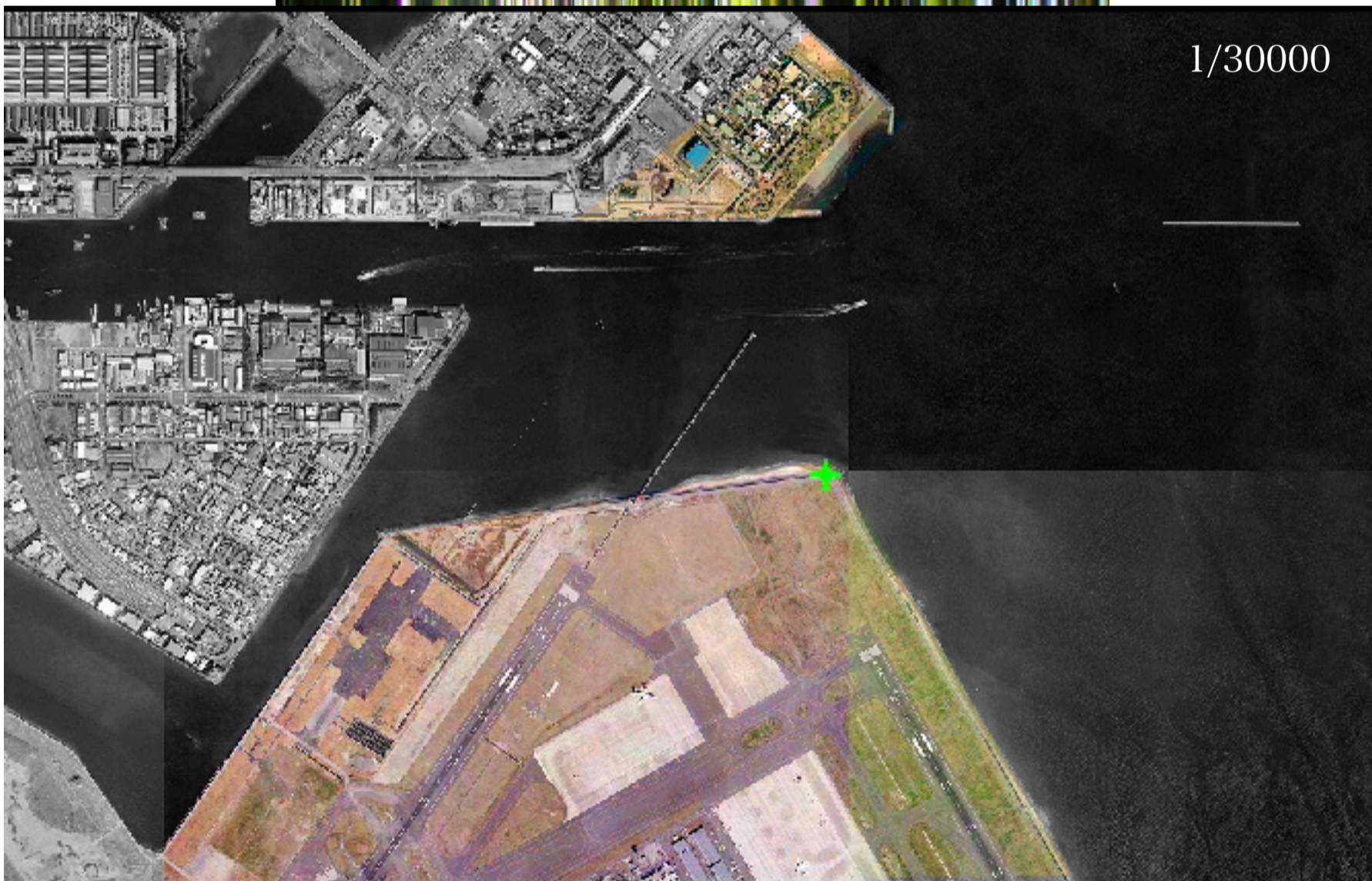




1895年12月28日 リュミエール兄弟。スクリーン映写装置シネマトグラフをパリのグランカフェで一般公開。
リュミエールらが公開した世界最初の映画は、
駅のプラットフォームに蒸気機関車(1827年から)がやってくる情景をワンショットで撮したもの「列車の到着」や、
自分が経営する工場から仕事を終えた従業員達が出てくる姿を映したもの「工場の出口」など。



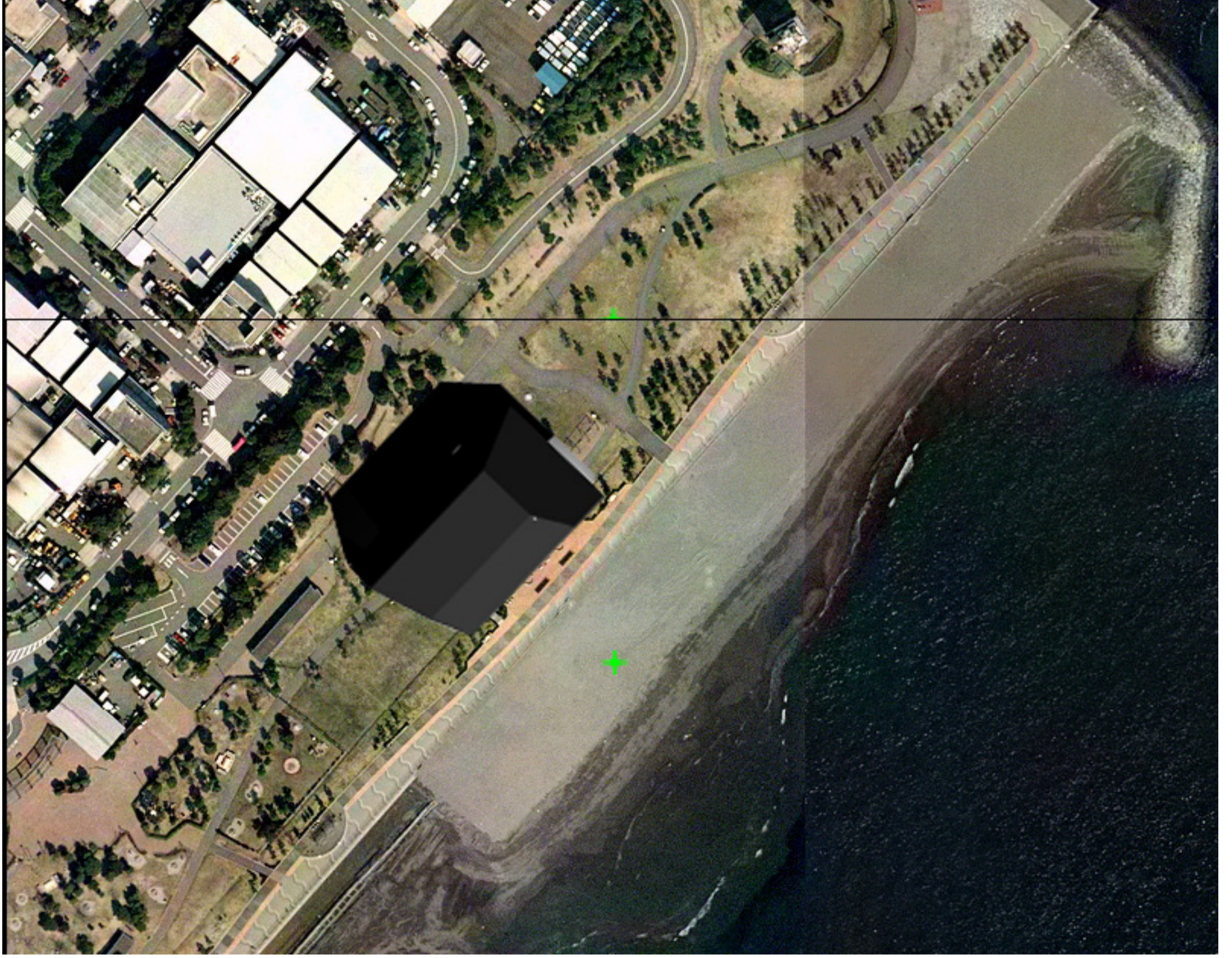
2004年 現在の人の最先端の技術の集合と思われる、空を飛ぶ列車ー飛行機。
その飛んでいる姿を映像ではなく窓越しに見れば、
なぜリュミエール兄弟が列車を撮影した訳を、現代技術のレベルであるが追体験できるはず。



1/30000

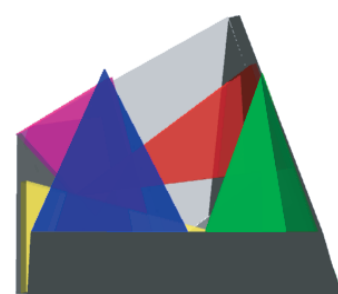
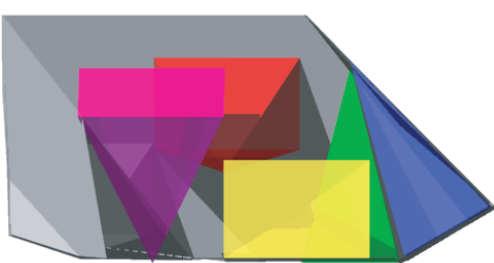
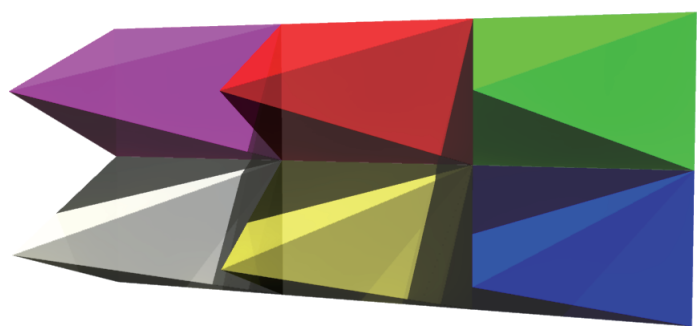
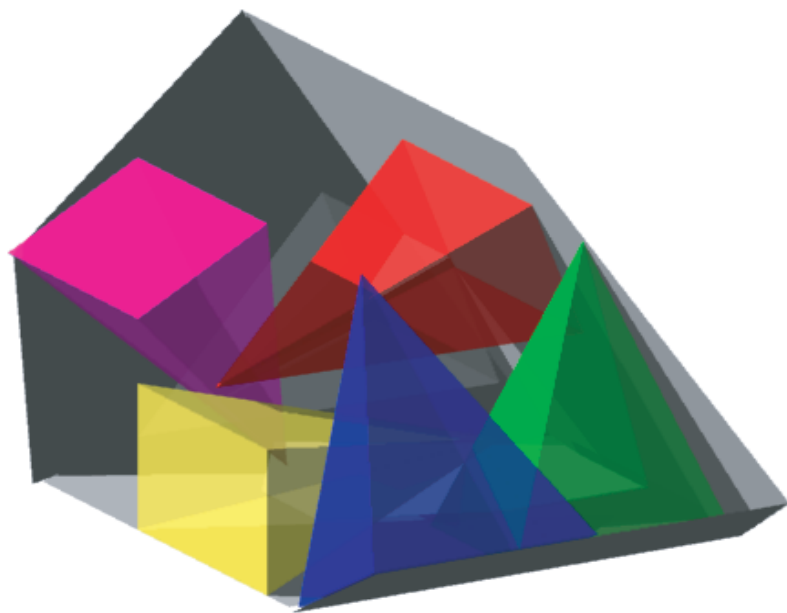
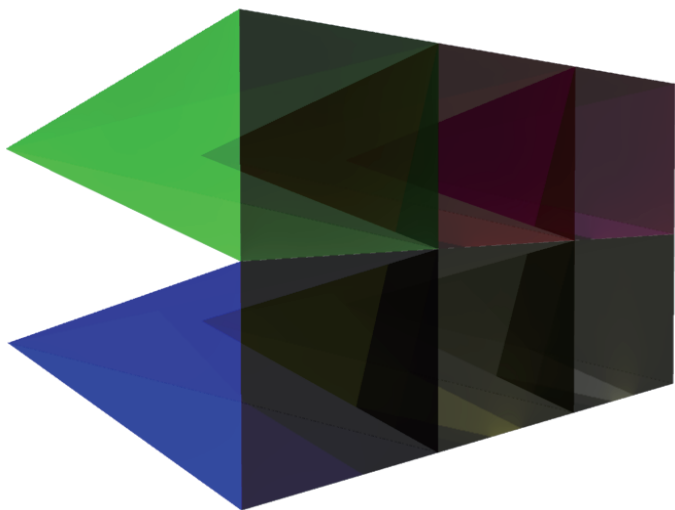


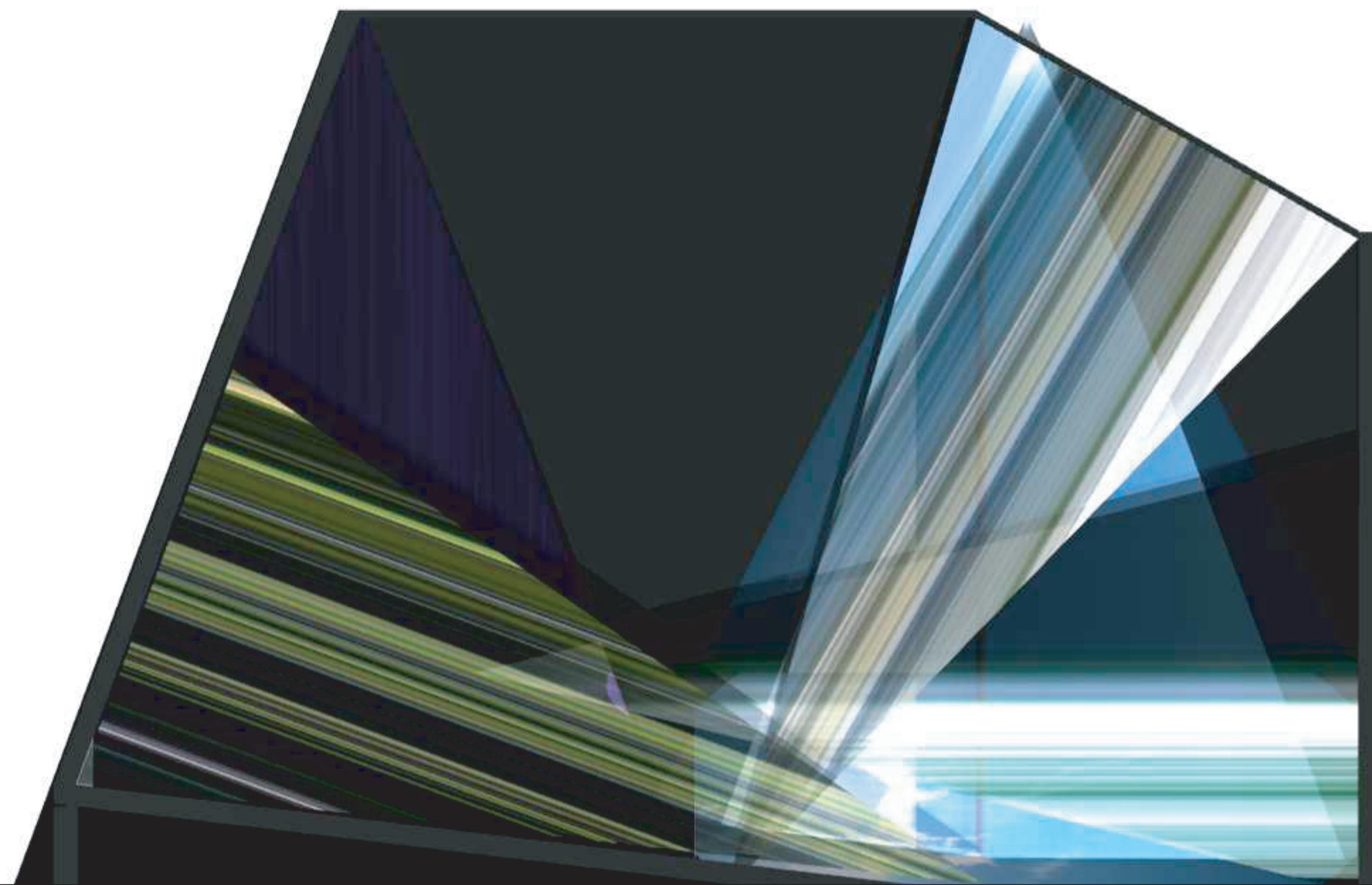
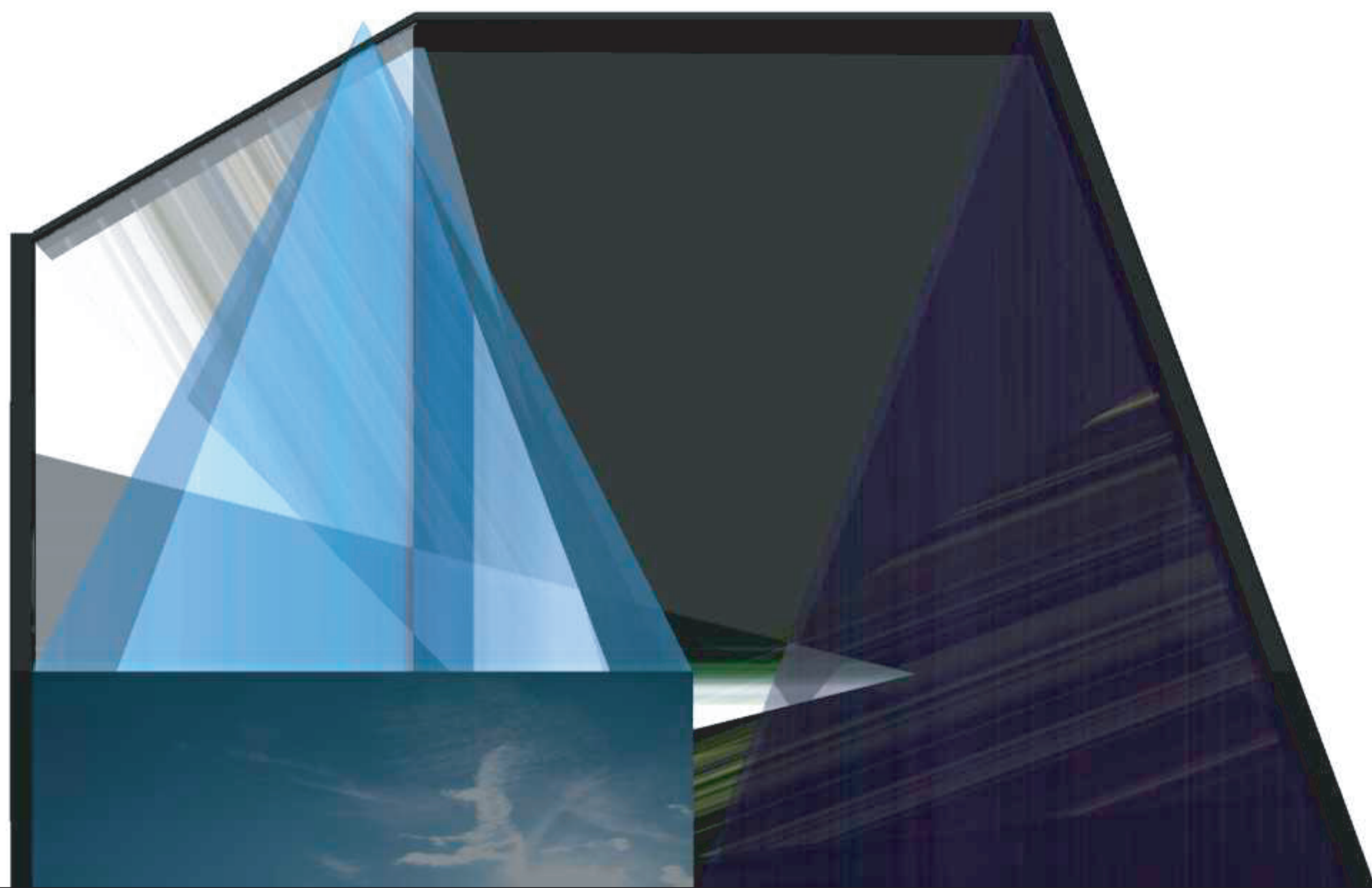
1/5000

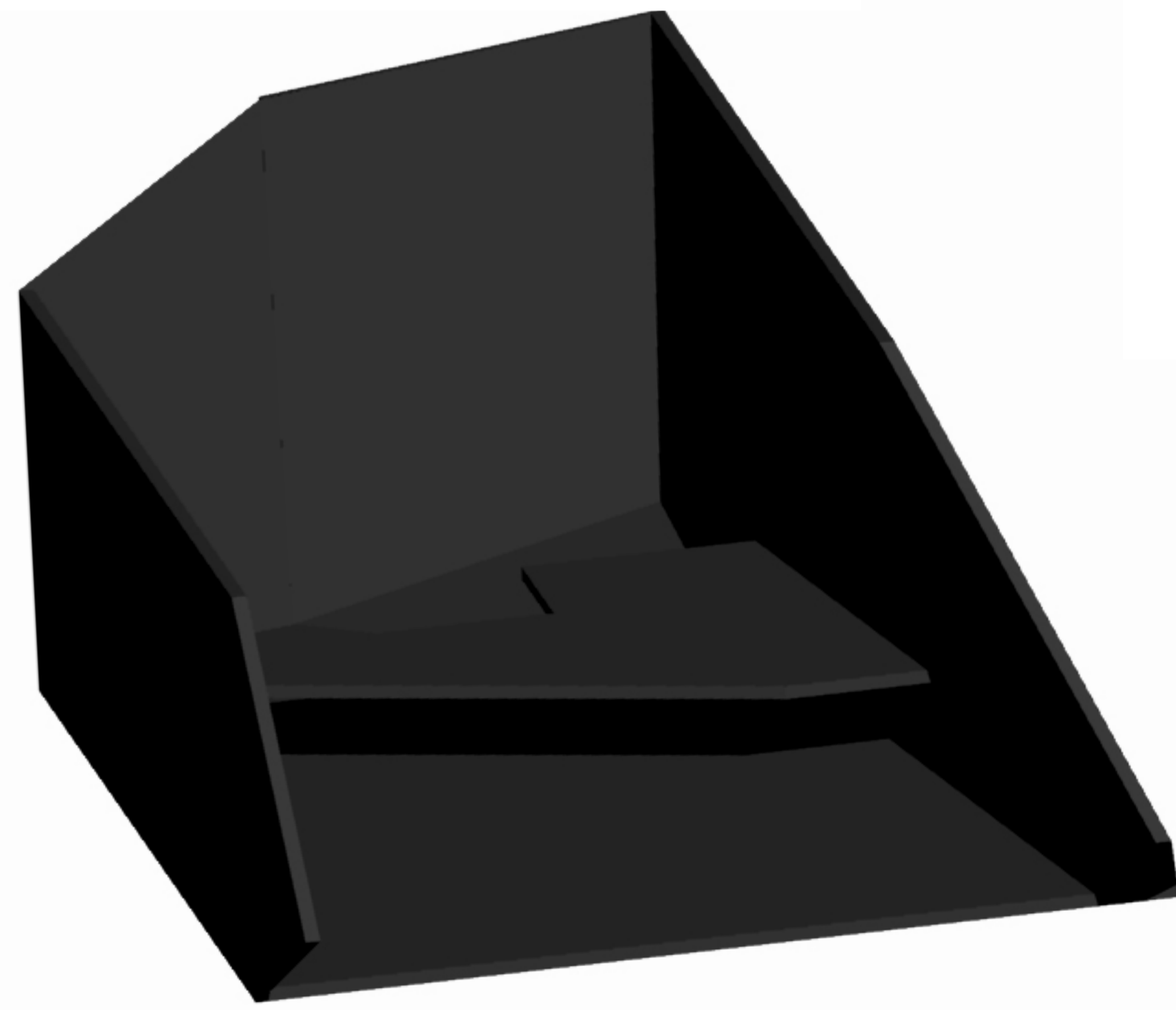
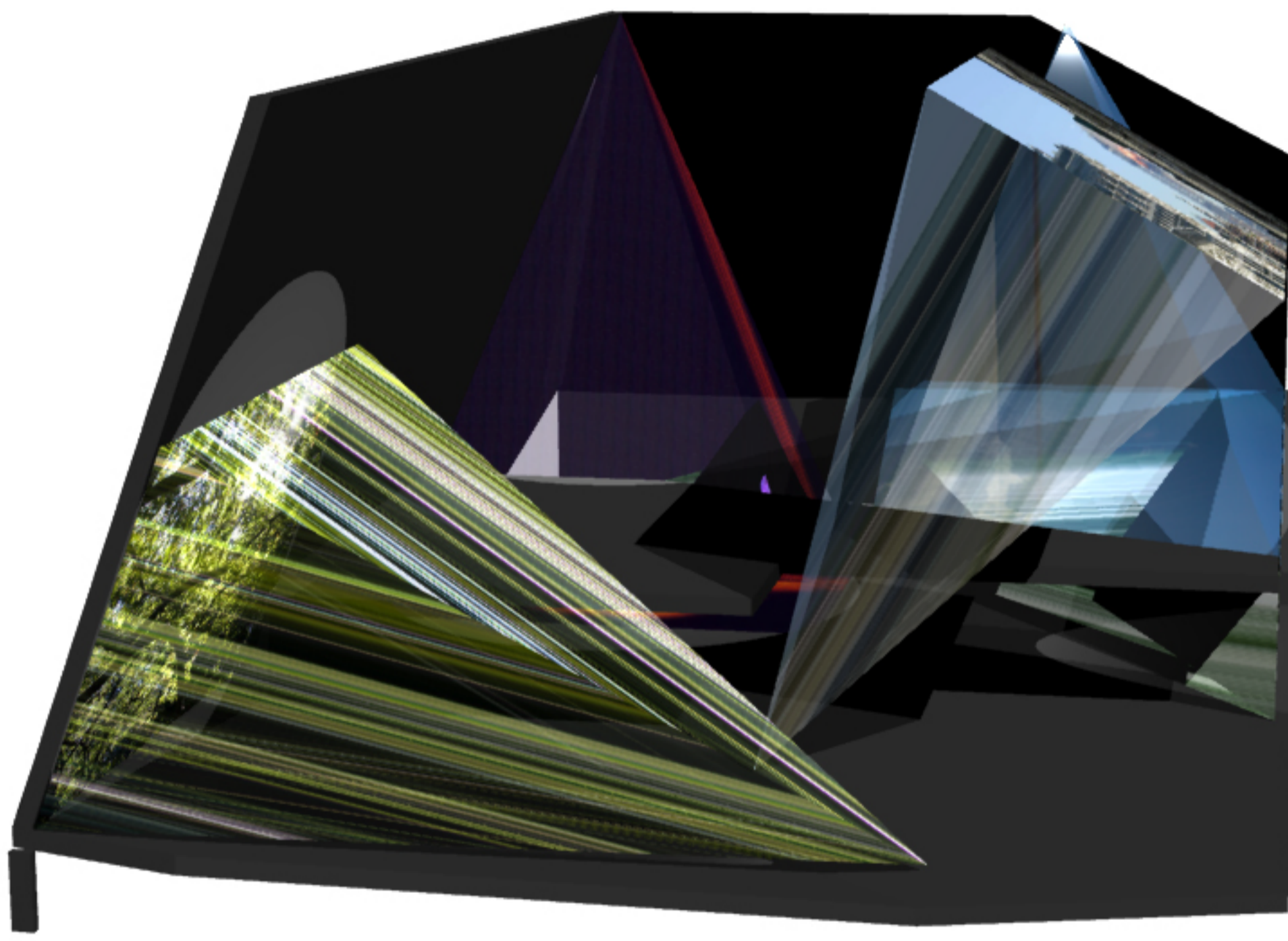
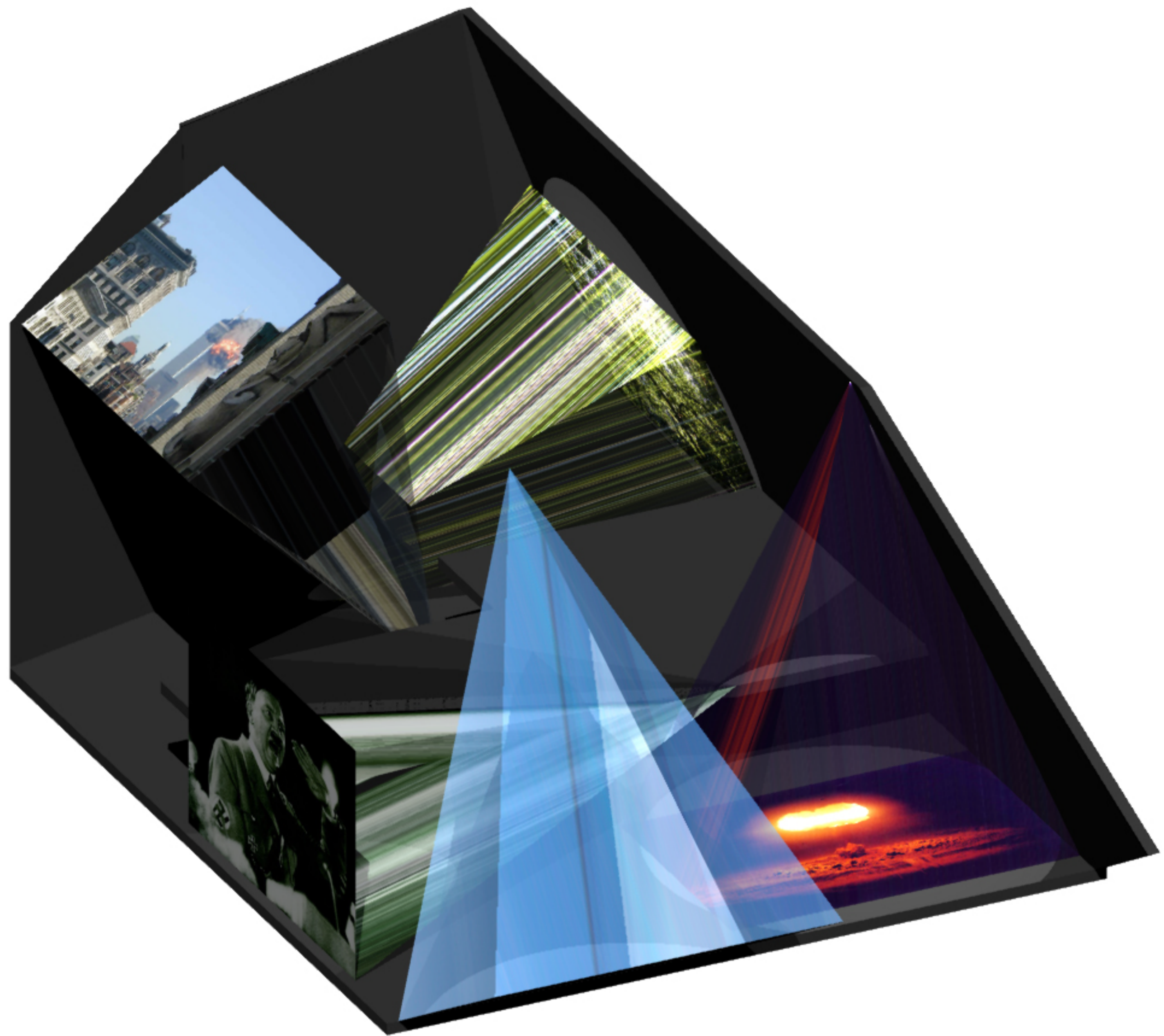


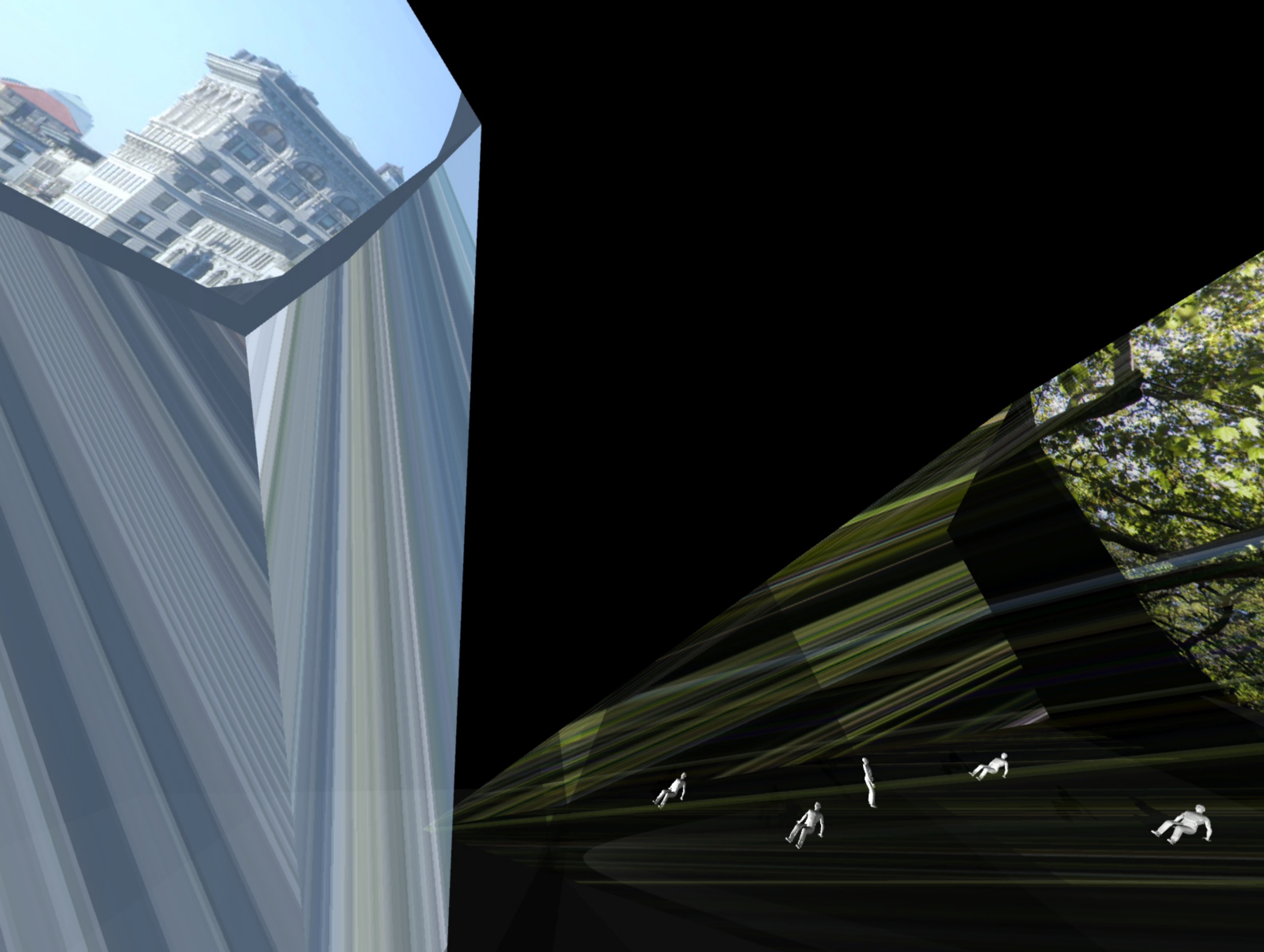
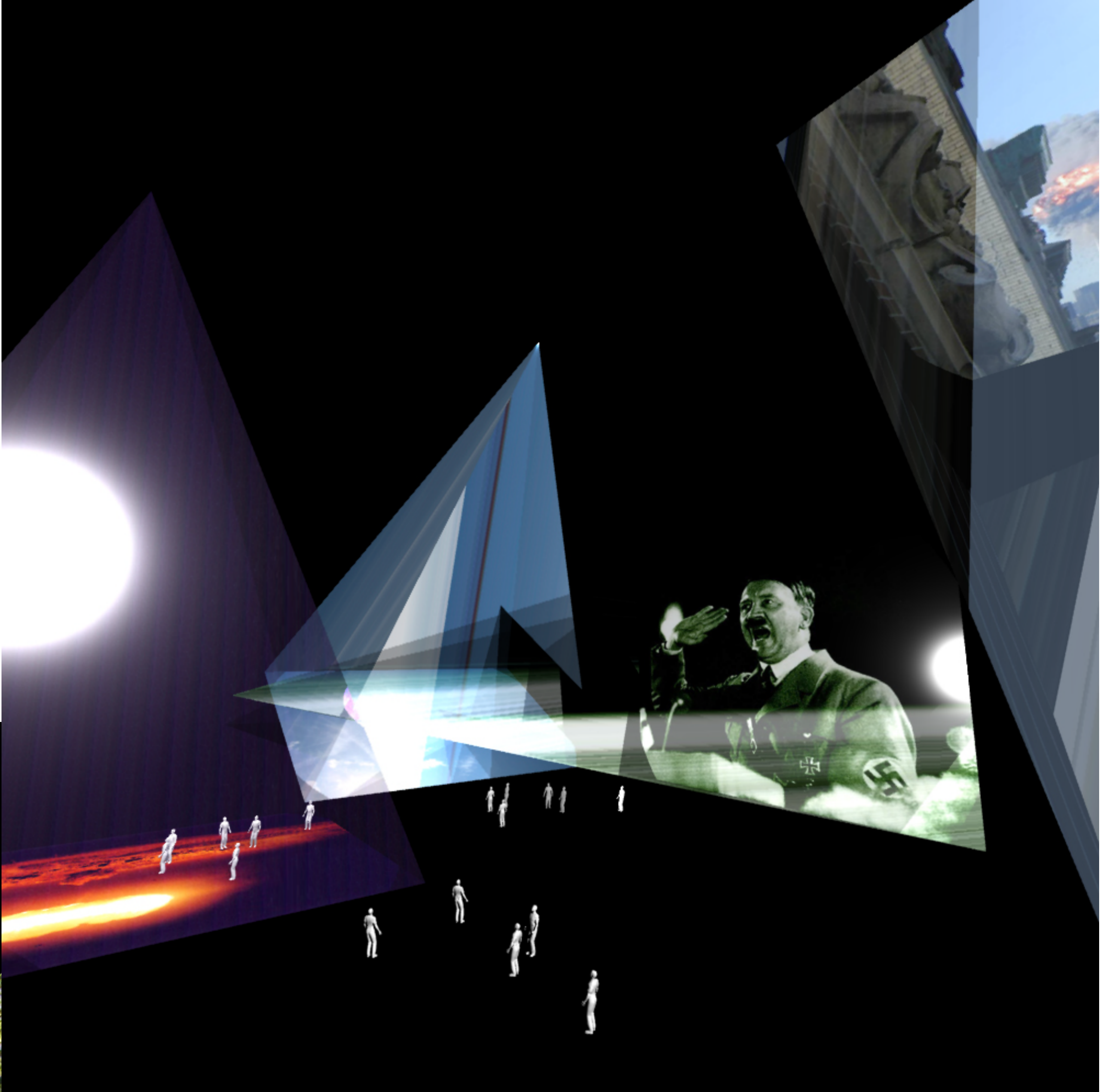
1/2500

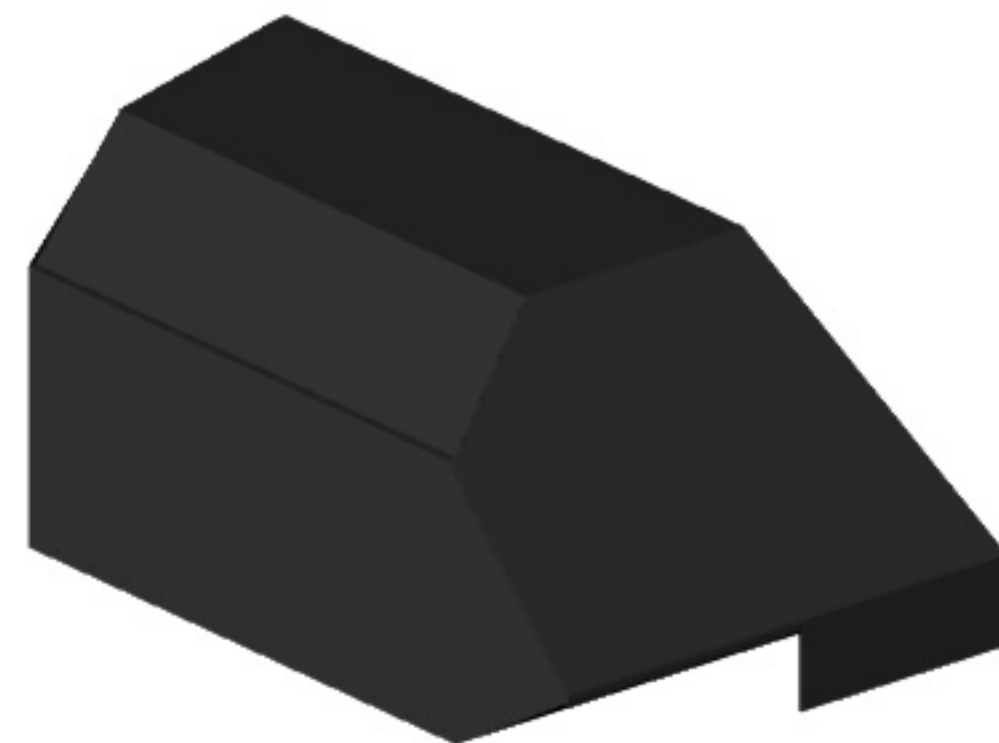
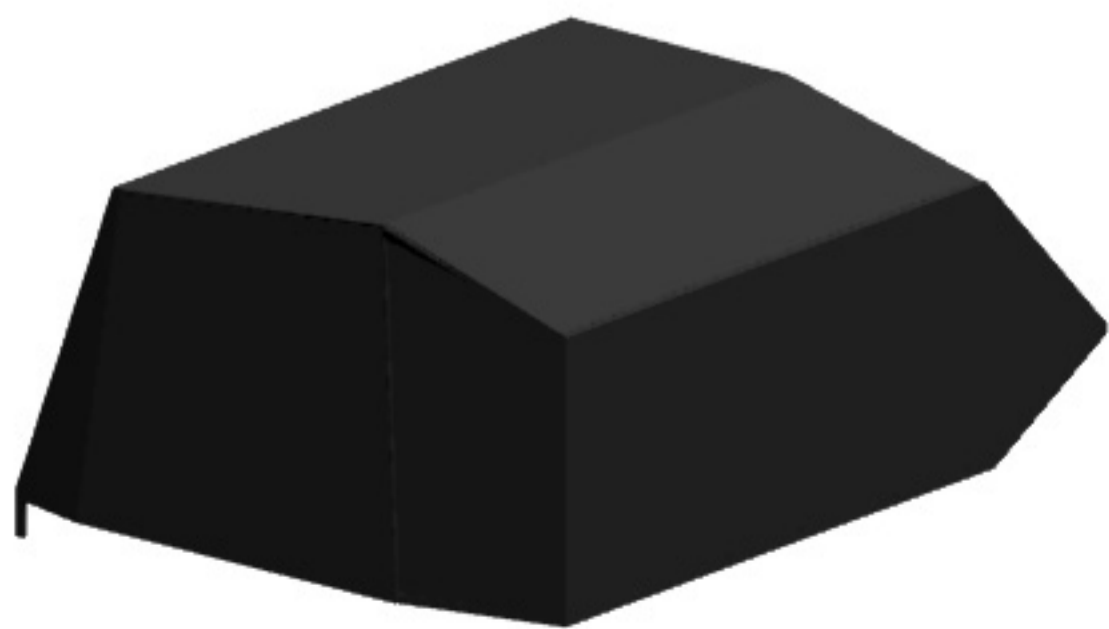
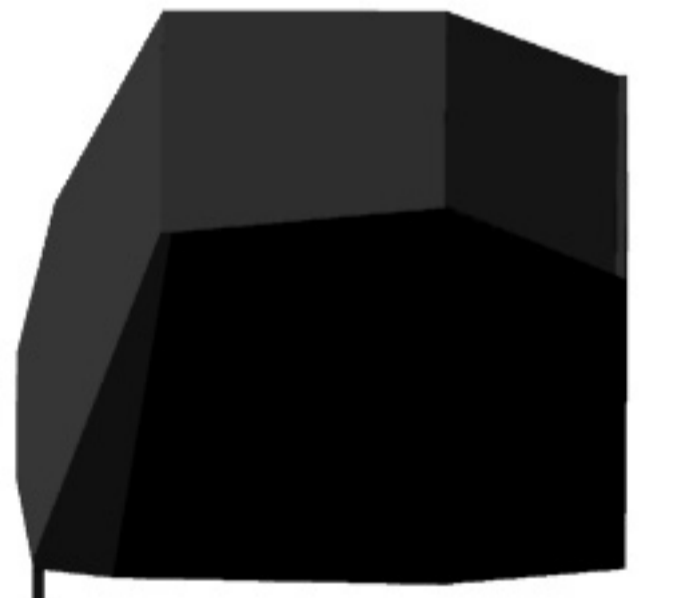
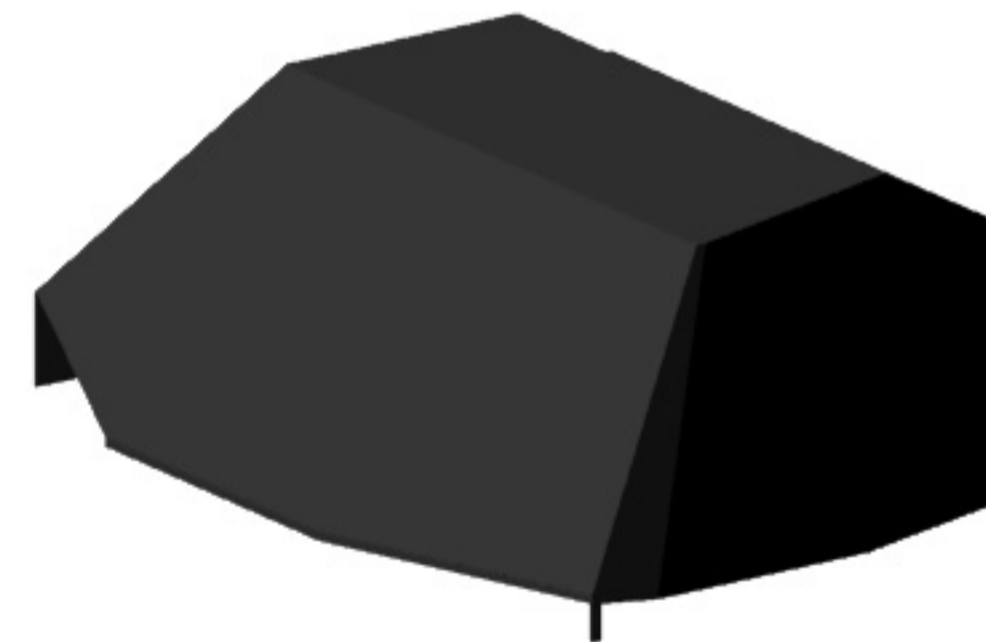
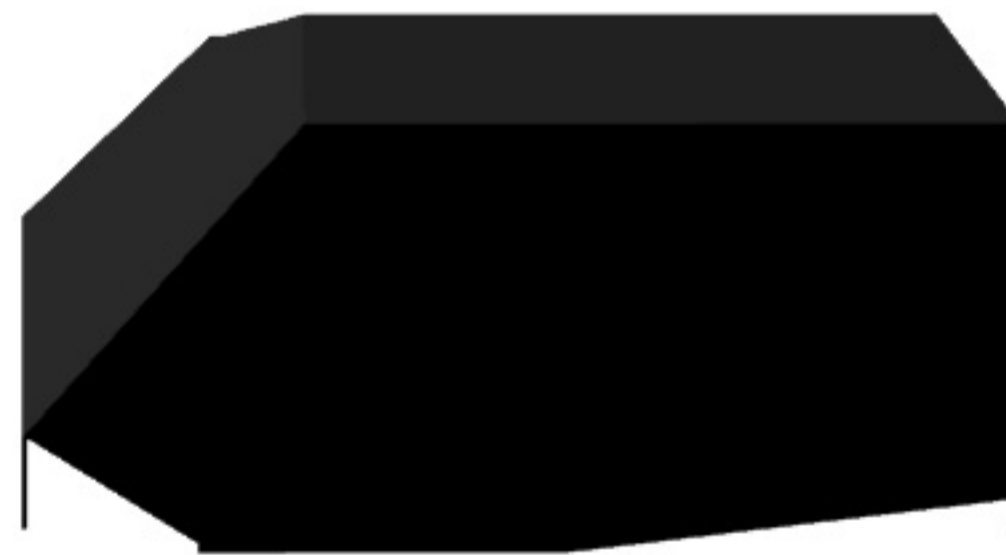
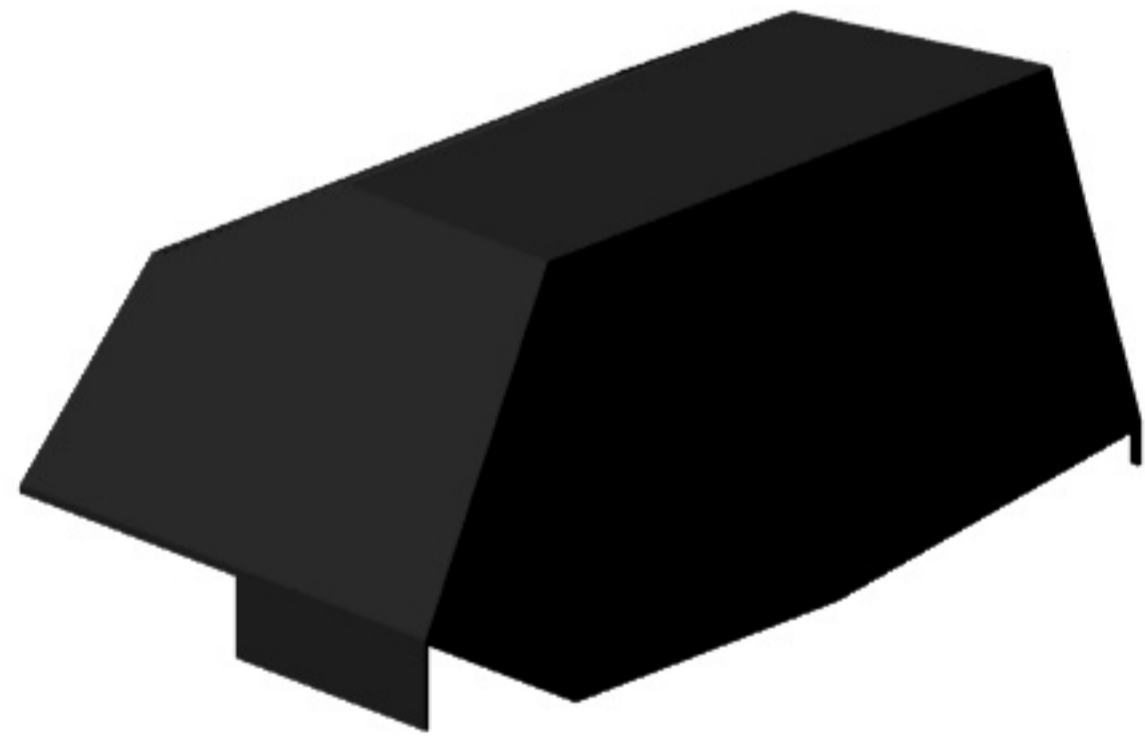
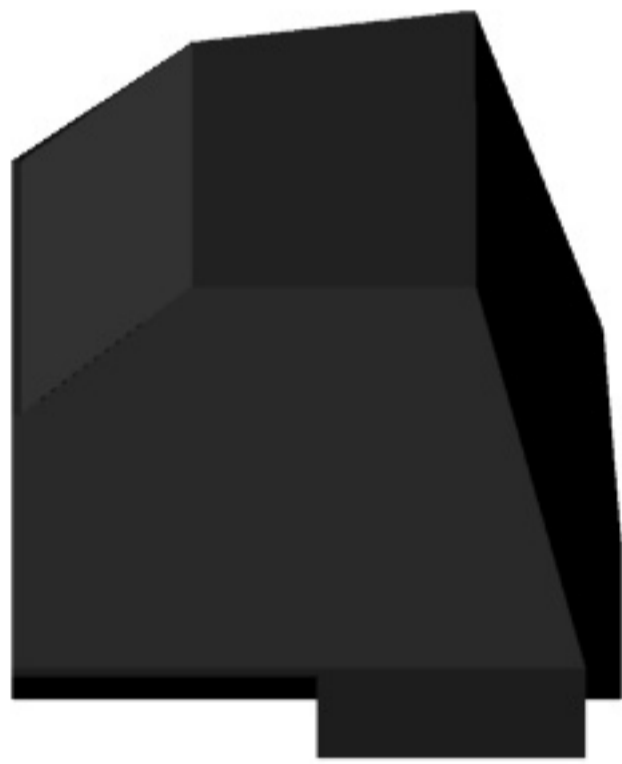
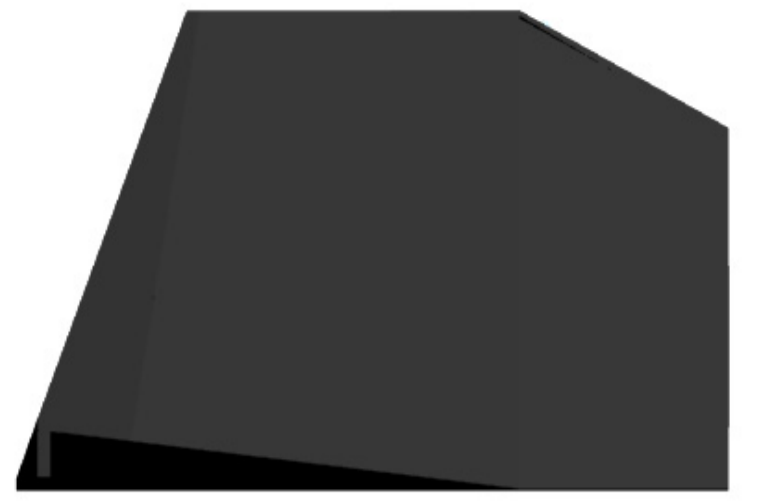
羽田空港から離陸する飛行機を南の方向から望むことができる、大田区の城南島海浜公園を敷地とし、映像ミュージアムを配置する。

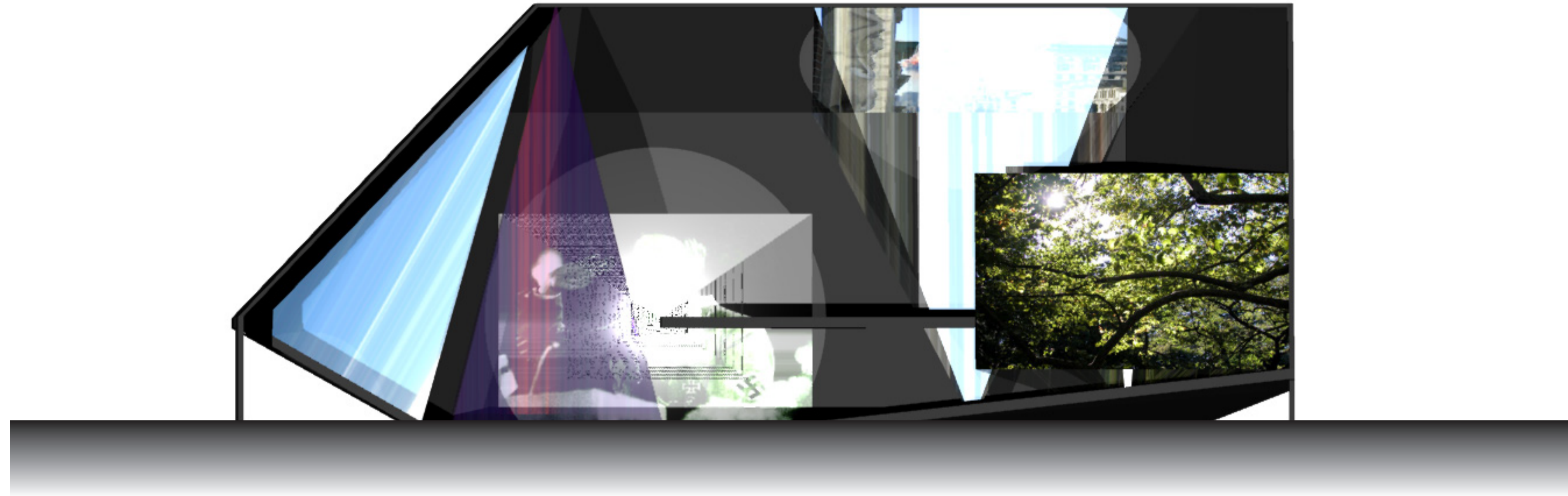












投影距離40m、スクリーンサイズ30m×20mのプロジェクターのボリュームを組み合わせて形態を作った。

